

平成15年度事務事業評価表

担当	議会事務局		内線等	1722
----	-------	--	-----	------

事業コード		事務事業名	議会交際費事業				
根拠法令等			A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
その他	その他

②事務事業の内容

対象（受益者）	市議会関係者に
手 段	社会通念上必要と思われる臨時的な行事等に対し、議会として慶弔費などを支出することにより
想定する成果	市議会の渉外事務、正副議長の公務を円滑にする。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
件数（件）	70	58	—
慶弔	31	26	—
表彰	17	14	—
土産	14	9	—

④成果指標

成果指標名	①	②
	1件当たり支出額	予算執行率
成果指標の説明	支出額／件数	支出額／予算額×100

⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	10.0	10.0	—
	実績	7.3	6.9	—
成果指標 ②	計画	100.0%	100.0%	100.0%
	実績	34.2%	26.8%	—
事業費	事業費	513	402	1,200
	人件費	826	812	835
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	1,339	1,214	2,035
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,339	1,214	2,035

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	市議会のスムーズな交流、情報交換が可能となり、議会の渉外事務、正副議長の公務を円滑にしている。
経済効率性	2	2	交際費の支出は適正であるが、成果は目に見えて現れるものではない。
事務効率性	2	2	臨時的な支出が多いが、支払事務のみで事務負担は多くない。
必要性	3	3	他市議会でも同様の支出をしている。今後も社会情勢、慣習が変わらない限り必要である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	慶弔費、土産代等の支出は社会通念上適当なものであると思われるが、議長賞の対象、金額、件数は若干問題があり、減少させてもよいと思われる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・15年度まで150万円であった予算額を、実績を鑑み16年度から120万円と30万円の減額をした。

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・対象を社会通念上必要不可欠なものに対象を絞り、さらに予算額を減額していきたい。
--

⑨平成17年度予算に反映する項目

<ul style="list-style-type: none"> ・予算額を市交際費と歩調を合わせ減額していきたい。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	議会事務局		内線等	1722
----	-------	--	-----	------

事業コード		事務事業名	議員研修事業				
根拠法令等			A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け 基本目標

	施策名
その他	その他

②事務事業の内容

対象（受益者）	3 常任委員会、議会運営委員会に所属する市議会議員に
手 段	先進地の事務事業を円滑に視察していただくための連絡調整、旅費支出等を行うことにより
想定する成果	先進地事例の調査研究の一助となる。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
旅費（千円）	3,604	4,109	4,380
視察地数（箇所）	24	20	15
委員会数	4	4	4

④成果指標

成果指標名	①	②
	1 委員会当たり視察箇所数	議員1人当たり視察旅費支出額
成果指標の説明	視察箇所数／委員会数	行政視察旅費／議員数

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	3.75	3.75	3.75
	実績	6.00	5.00	—
成果指標 ②	計画	168	168	168
	実績	139	158	—
事業費	事業費	3,604	4,109	4,380
	人件費	1,653	1,623	1,671
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	5,257	5,732	6,051
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,257	5,732	6,051

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	問題意識を持ち、意欲的にかつ積極的に先進地視察に向く議員には、達成度は高いといえる。
経済効率性	3	3	現行予算のおかげで、通常では行けない遠方の都市の先進情報、施設を直に見聞できる。
事務効率性	2	2	事務局職員が視察の企画・調整・管理の多くを任されているため、負担が大きい。
必要性	3	3	全国の他市町議会でも本市議会と同等以上に行われており、議員の調査・研究のため必要である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	現在の事業の進め方で効果は上がっていると思われるが、行き先、調査項目を明確にし、今以上に計画書、報告書を整備することが必要である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

・13年度までは委員会行政視察旅費の残額を、個人やグループの一般視察旅費にも充てていたが、14年度から委員会単位の視察を主な旅費対象とした。

⑧今後改善すべき点

・委員長始め全委員が視察の行き先、調査目的を明確にし、単なる親睦旅行、観光旅行と誤解されないよう、今以上に計画書、報告書の内容を充実させ、視察内容についても積極的に公開するよう働きかけていきたい。

⑨平成17年度予算に反映する項目

・市財政当局から経常経費の大幅削減が叫ばれている中、議会としても視察旅費の総額を減額するよう働きかけていきたい。

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載